

# 水と空

第133号

発行

沼津地区環境保全協議会

沼津市御幸町14-5

沼津商工会議所

編集

同会 広報部会



沼津地区環境保全協議会

ひとこと

竹炭づくりへの挑戦

大平自治会長 垣花 亮 … 2 P

事業所訪問シリーズ 179

株式会社明電舎を訪ねて

矢崎電線株式会社 高原金治 … 3 P

沼津市環境政策課だより

… 6 P

会の動き

… 7 P

環境を 守るも壊すも

あなたの手

大平地区は三方を山に囲まれ、一方は狩野川を眺めることが出来る。地域の中心部は水田が占めている。この地に、約千戸の住宅が建っている。

さて、3年位前からエコ活動の話を頻繁に聞くようになり、私たちはどのような内容のエコ活動をすべきかが、各層で話題に上るようになったが、最も意見の多かったのは自然の豊かさを維持すべき活動をすべきだということだった。特に、植物特有の光合成作用によるCO<sub>2</sub>の吸収によって、温室効果ガスといわれるCO<sub>2</sub>の抑制に効果あるエコ活動は緑豊かな大平地区に最良なテーマではないかということだ。そこで、数ある中から、現在、特に力を入れている竹炭づくりについて紹介する。

このプロジェクトはコミュニティ内の一部門（名称：コミネット大平：20人）の団欒の場で生まれた。平成19年5月のことである。

大平地区内の中央部を大平江川という川が流れている。この川は大平に降った雨水、各家庭からの生活用水を処理する唯一の川で、最近、汚れが著しいのが気にかかる。一方、多くの竹林があるが、整備が行き届かず荒れ放題になっている。この二つの事象を結びつけて「竹を切って竹炭を作り、炭の浄化作用を利用して、大平江川をきれいにする」というのだ。全員の賛同を得て、早速、行動を起こすことにした。インターネットで関連資料を集め、市の炭作り体験学習を受け、近郊の炭焼き場を見て、自分たちもドラム缶で実験した。そのうちに、固定の炭焼き場を作ろうということになり、場所探しをはじめた。

平成20年6月には山裾で、かつて石切り場だった跡地を借用することが決まり、周辺部の草刈、木の伐採、整地作業等メンバーの協力による作業が6ヶ月間続いた。

平成21年2月には、この場所を「大平竹炭の里」と名づけ、看板を取り付けた。3月にはいと実験炉としての炭焼釜（内容量0.8m<sup>3</sup>）づくりに取り掛かり、5月4日には火入れ式にこぎつけた。竹炭づくりのテーマが出てから、実に2年を要した。

2～3ヶ月に一度の割合で、炭焼き作業をしているが、成功、失敗の繰り返しである。しかし、この試行錯誤をメンバーは楽しんでいて、都度、炭焼き論議が沸騰する。このことが継続に大きく寄与しているのではないかと思う。

また、大平江川の水質検査も毎月、実施しており、早く、良い炭ができて、川の浄化作用の効果を見たいものである。

## 株式会社明電舎を訪ねて

矢崎電線株式会社 高原金次

2010年6月17日（木）沼津地区環境保全協議会メンバー6名で株明電舎 沼津事業所を訪問させていただきました。

### 株式会社明電舎 会社概要

創業：1897年（明治30年）12月22日

資本金：170億7000万円

連結売上：1987億9700万円

従業員数：7133名

事業内容：発電・変電設備、制御装置、  
自動車用試験装置の製造

### 沼津事業所概要

所在地：沼津市東間門字上中溝515

設立：1961年（昭和36年）4月

従業員数：2711名（敷地内関連会社含む）

敷地面積：約350,000m<sup>2</sup>

事業内容：コンピュータシステム装置、  
電気自動車用インバータ、真空コンデンサ、  
電力変換装置の開発・製造、環境材料の分析など

最初に正門到着後、構内の南北に延々と続く道路を見て、沼津事業所の敷地面積の広さに驚きました。その後、3年前に新築された本館ビルに案内していただき、事業所長の水谷様より沼津事業所の概要、及び、コンセプトについてのお話を伺いました。

沼津事業所では、全員で「製品・サービスの質、人材の質、環境・地域活動の質」の三つの質に「ありがとうの心」をのせて「3Q-Factory」活動を推進しているところです。

また、明電舎と言えば変圧器などの変電設備を主体に製造していると思われがちですが、現在では、それらの製造は子会社に移管されており、コンピュータシステムの設計、開発事業が主体となっております。ジャトコ跡を利用し、新しく設置されたコンポーネント工場では、三菱の電気自動車用i-MiEVのインバータを製造しています。そして、その工場内には、環境材料分析センターを設け、環境測定分析や製品の環境テストなども行なっています。

私も、今までは、明電舎といえば重電装置の製造というイメージを持っていましたが、所長のお話を伺い、それらのイメージが払拭されました。



沼津事業所概要のビデオ鑑賞後、2班に分かれ2台の電気自動車、三菱のi-MiEVに試乗させていただきました。今回の参加者から試乗希望者4名が事業所周辺の公道を5分程度運転し、電気自動車の感触を確かめさせていただきました。私が思っていたよりもパワーが有り、大人4人が乗っても楽々加速することが出来、加速性能はガソリン車よりも良い感じがしました。

同乗していただいた真崎課長のお話ですと、「ただ欠点は、1回の充電（家庭用100V電源で12時間）で140kmしか走れないため、いまのところ、長距離走行は出来ません。これからの普及には、充電スタンドの普及や急速充電装置、充電量の拡大などの改善が望まれます。」ということです。



次に、本館ビル屋上に案内していただき、発電容量20kWhの太陽光発電装置、トップランナー受電設備などを見学しました。屋上からは、沼津市内、駿河湾、富士山が一望出来、非常に景観が良かったです。また、工場内には、みかんの樹木、芝生、お茶園などが有り、緑地が多いと感じられました。



その後、新中川を挟んで向かいにあるコンポーネント工場に案内していただきました。入口で防塵服を着用し、i-MiEVのインバータを製造している工程に入り、工程責任者の方から説明をしていただきましたが、製造ラインはこれから電気自動車の増産に合わせて増設されるということ

で、床面積の半分程度しか設置されていませんでした。

環境材料分析センターでは、大気、水質、悪臭などの環境測定分析、絶縁油中のPCB濃度分析、製品の環境テストなどを実施しており、XRF、発光分光分析装置、ガスクロマトグラフィ、電子顕微鏡、耐候性試験機などの分析機を用いて分析作業を行なっているところを見学させていただきました。

また、コンポーネント工場排水設備に取り付けてある明電舎で開発したpH、流量の遠隔監視装置の設置状況も確認させていただきました。



帰りには、工場敷地内のお茶農園で栽培された新茶をお土産にいただき、帰宅後、早速、お茶を入れ、美味しくいただきました。

最後に、今回の訪問時に説明、案内をしていただきました、水谷事業所長、真崎課長、小田様に御礼申し上げます。

# 臭気指数規制の導入について

悪臭防止法に基づく臭気の規制の方法が変わります。

沼津市では、これまで工場その他事業場における事業活動に伴って発生する悪臭について、アンモニア等 22 種類の特定悪臭物質ごとの濃度で規制する「物質濃度規制」により、規制を行ってきました。

「物質濃度規制」は、特定の悪臭物質を排出する事業場等に対しては一定の効果をあげてきましたが、いろいろなにおいが混ざった複合臭には対応できないことなどから、人の嗅覚を用いて臭いを測定する「臭気指数規制」を導入することにしました。

「臭気指数規制」は、「物質濃度規制」に対して、次のような優位性があります。

- ・多種多様な「におい」の物質に対応することが可能。
- ・嗅覚を利用することで、「におい」の程度がイメージしやすい。
- ・人の臭いに対する感覚と一致しやすい。

※ 臭気指数とは、臭気の強さを表す数値で、においのついた空気や水を、においが感じられなくなるまで無臭空気（無臭水）で薄めたとき、臭いを感じなくなるかを求め（臭気濃度）、下記の計算式で求められる数値です。

**（臭気指数） = 10 × log（臭気濃度）**  
臭気指数の数値が小さいほど規制が厳しくなります。

## 規制地域

都市計画法の規定に基づく都市計画区域及び戸田地域

## 規制対象

全ての工場・その他の事業所が対象

## 規制基準

（悪臭防止法第4条第2項各号に基づく基準）

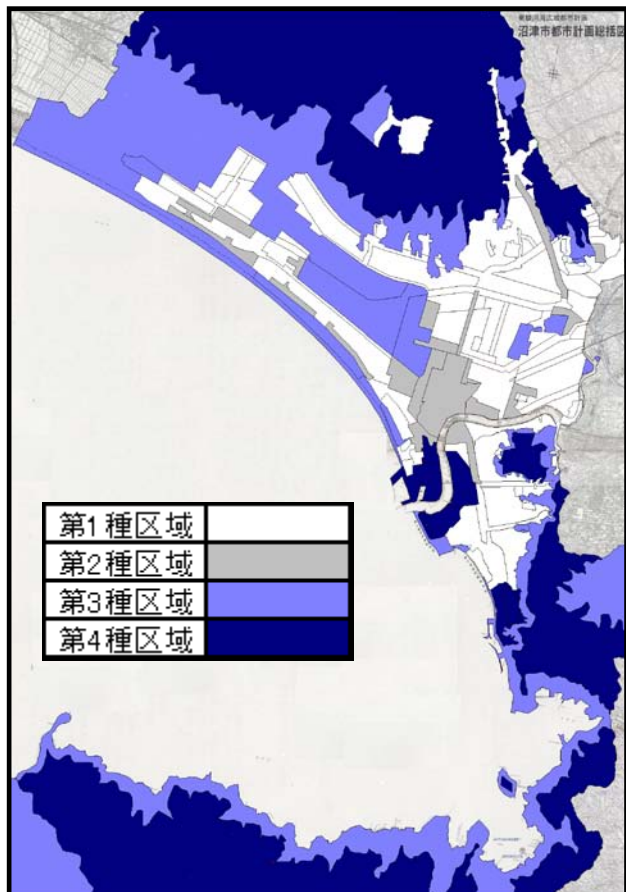
敷地境界線上の規制基準（1号基準）

規制地域の区分		臭気指数
第1種区域	住居系の地域	1.2
第2種区域	商業系の地域 準工業地域	1.5
第3種区域	工業地域・工業専用地域 市街化調整区域 戸田地域	1.8

上記の指定にかかわらず、図に示す第4種区域については、当分の間、規制基準を2.1とします。

**施行日：平成22年9月1日**

悪臭規制地域図（概要図）



## 会の動き

---

☆ 4月21日

- 【理事会】(1) 役員の改選について  
(2) 定時会員総会について

☆ 5月11日

- 【定時会員総会】  
総会・記念講演会

☆ 5月27日

- 【事業部会】 平成21年度の事業の進め方について  
【広報部会】  
(1) 平成22年度 環境保全協議会ホームページ作成について  
(2) 「水と空」第133号の企画について  
(3) 「水と空」第134号の企画について

☆ 6月17日

- 【広報部会】 取材 事業所訪問：株式会社 明電舎沼津事業所

☆ 7月9日

- 【広報部会】 「水と空」第133号原稿校正について